

2024年度 千葉商科大学地域志向活動助成金 活動概要報告書

活動名称	スポーツを通じた地域振興・地域活性化
報告者	NPO法人市川市にJリーグクラブをつくる会 代表理事 荒 裕二
活動目的	当NPO法人は、市川市にJリーグクラブを創設するための普及活動や支援を行うとともに、地域社会と融合したスポーツ文化の醸成、地域活性化を通じた「ひと・まちづくり」への貢献、さらに市川市全体の経済・文化の発展に寄与することを目的に活動しています。 本年度の千葉商科大学地域志向活動では、「スポーツをハブとした地域振興・地域活性化」および「次世代育成」をテーマに掲げ、取り組みを進めました。イベントを通じて、学生たちは企画力や運営力を実践的に養い、地域住民や企業との連携を経験する貴重な機会となりました。また、市川市全体を巻き込んだ地域づくりの一環として、地域経済の振興、コミュニティの活性化、地域ブランドの向上を目指しました。地域の多様な人々をつなぐことで、市川市をより活気ある魅力的な街へと発展させることを目指しました。
活動協力	商経学部 坂井恵教授 サービス創造学部 横山真弘准教授 サービス創造学部 スポーツビジネス・プロジェクト 千葉商科大学 株式会社市川サッカークラブ SETAGAYA UNITED 市川市 スポーツ計画課 市川市 教育委員会 千葉県 総合企画部 千葉商科大学サッカー部

活動概要

本活動は、「スポーツをハブとした地域振興・地域活性化」の実現を目指し、千葉商科大学のスポーツビジネス・プロジェクトに所属する学生と連携しながら、スポーツイベントをゼロから企画・運営しました。

学生メンバーとの打ち合わせは5月より開始し、12月7日のイベント当日まで綿密な準備・検討を重ねました。

イベント名称は「まちスポ！市川サッカーフェスティバル」とし、千葉商科大学のサッカーグラウンドにて開催。

市川サッカークラブ（千葉県社会人サッカーリーグ所属）と、世田谷ユナイテッド（東京都社会人サッカーリーグ所属）の協力のもと、フレンドリーマッチを実施しました。

イベント開催に向けた事前活動としては、ターゲット層の選定、アプローチ方法の検討、市川市民まつりでの事前告知、案内チラシやポスターの制作などを行いました。特に、市川市スポーツ計画課および市川市教育委員会から後援を得られたことにより、1万部のチラシを市内小学校を通じて配布することが可能となり、主要ターゲットである小学生層への広報を強化することができました。また、当日は千葉県総合企画課の協力により「チーバくん」が登場し、市川市のご当地ヒーロー「激神ザンドー」にも出演いただくことで、イベント全体を盛り上げることができました。さらに、地域のキッチンカー（5店舗）や、地域企業・ボランティア団体のブース出展も実現し、地域の魅力を発信する場ともなりました。その他にも、学生たちは、サッカースクールの開催や来場者向け抽選会など、来場者満足度の向上に向けた多彩な企画を考案・実行し、イベントの魅力を高める工夫を行いました。

本活動を通じて、スポーツを媒介とした企業・行政・住民・教育機関など多様なステークホルダーの連携により、地域社会に活力をもたらすことができることを実証しました。

共創の場を創出することで、地域経済の振興や地域コミュニティの活性化につながり、スポーツが地域社会にポジティブな影響を与える力を持つことを改めて確認することができました。

学生たちはこのプロセスを通して、地域連携の重要性を学び、課題発見力・課題解決力・企画運営力といった実践的スキルを習得し、地域社会の一員としての責任感を育む貴重な経験を得ることができました。

スポーツには、人と人、人と地域をつなぎ、地域社会を元気にする力があります。本活動は、その可能性を体現した取り組みとなりました。

学生主体の実践的まちづくり 「スポーツをハブとした地域活性化」

2024年度 千葉商科大学地域志向活動助成金 活動概要報告書

地域コミュニティ



地域ブランド



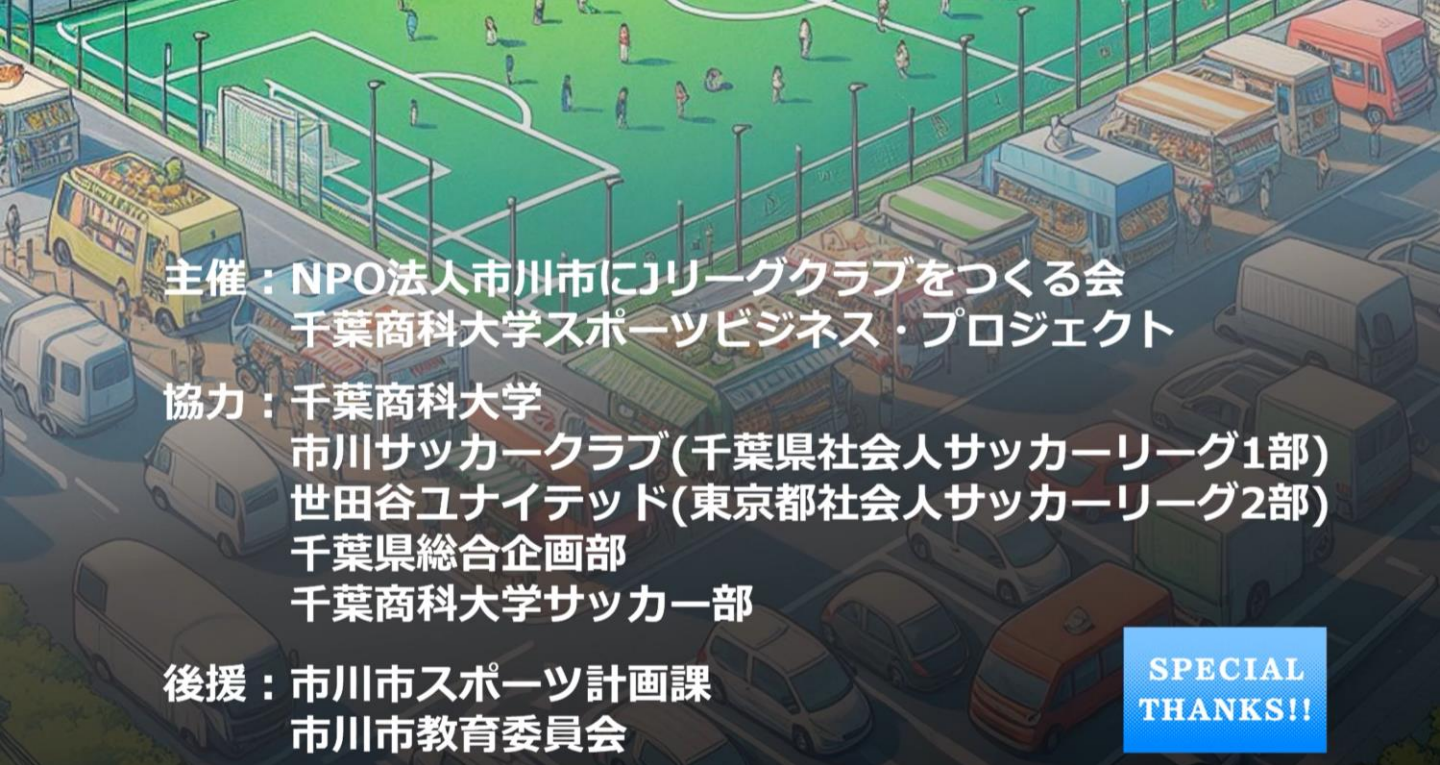
地域経済



スポーツで市川市を元気にします！



スポーツをハブとした地域活性化



主催：NPO法人市川市にJリーグクラブをつくる会
千葉商科大学スポーツビジネス・プロジェクト

協力：千葉商科大学
市川サッカークラブ(千葉県社会人サッカーリーグ1部)
世田谷ユナイテッド(東京都社会人サッカーリーグ2部)
千葉県総合企画部
千葉商科大学サッカー部

後援：市川市スポーツ計画課
市川市教育委員会

SPECIAL
THANKS!!



市川市には、多様な職業や年代の
人々が暮らしています。



例えば、学生、主婦、ビジネスマン、そして地域に住む高齢者など、
さまざまなバックグラウンドを持つ人々が生活をしています。



しかし、

それぞれの関係性は希薄で、
それぞれが知り合うことなく、
バラバラに生きています。

それは寂しいことだと思いませんか？

そこで、「スポーツが地域のハブとなり、地域のコミュニティづくりに貢献できることを証明したい」と考えました。



「スポーツイベントの実施」

学生の皆さんとスポーツイベントを企画し、地域の人たちが集まれる場所を提供して、地域の多様性と交流の懸け橋を作るための活動を行いました。

千葉商科大学 スポーツビジネス・プロジェクト



千葉県にある4つの球団と連携し、
スポーツビジネスを学び、実践する講義。

CUC 千葉商科大学

スポーツビジネス・プロジェクトの紹介

千葉商科大学（サービス創造学部）の学生がスポーツ産業を実践的に学ぶプロジェクトです。企業や地域と連携し、スポーツを通じて社会貢献を目指して活動しています。



学生たちと取り組んだ活動

今回の企画では、学生たちと一緒に地元のサッカークラブ「市川SC」の試合運営をゼロから企画・運営しました。学生にとっての学びとなり、イベントを通じての地域活性化を目指して取り組みました。



開催場所

・千葉商科大学（グラウンド、メインストリート）

プログラム概要

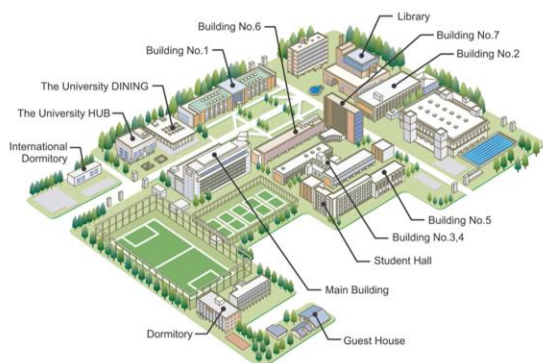
・キッチンカーやテントブース、地域キャラクター（チーバ君やご当地ヒーロー）の招待、サッカー体験教室の開催など

イベントの告知

・11/2（土）いちかわ市民まつりでイベントを告知
・市内の小学校に10,000枚のチラシを配布

後援

・市川市（スポーツ計画課、市川市教育委員会）



タイムスケジュール



イベントを通じて得た学び

①対戦相手の決定



VS



市川SC

(千葉県社会人サッカーリーグ)

SETAGAYA UNITED

(東京都社会人サッカーリーグ)

※ステークホルダーとの関係性構築の重要性を学ぶ

②会場の決定



国府台陸上競技場 ⇒ 千葉商科大学
サッカーグラウンド

※施設利用の調整と利害関係者との交渉スキルを学ぶ

③市川市の後援



市川市

(市川市スポーツ計画課)

- ・企業や団体への案内がスムーズにできた。
- ・市川市の傷害保険が適用できた。

(市川市教育委員会)

- ・市川市内の小学校に10,000枚のチラシを配布できた。

※公的機関との連携方法、後援獲得のプロセスを学ぶ

④キッチンカーの招待



計5店舗

※地域経済への貢献と共創ビジネスの重要性を学ぶ

⑤地域キャラクターの招待



チーバくん

(千葉県総合企画部)



激神ザンドー

(市川市のご当地ヒーロー)

※地域資源を活用したマーケティング手法を学ぶ

⑥テントブース



地域企業やボランティア団体のPRブース

※CSR活動やスポンサーシップの関係性を学ぶ

⑦主催者ブース



市川サッカークラブのPRや
スポーツビジネスプロジェクトの活動紹介

※主催者の目的を来場者に発信するための企画力を学ぶ

⑧市民参加イベントの実施



サッカー教室

PK対決

※地域とのエンゲージメントを高める方法やイベント設計を学ぶ

⑨試合運営のサポート



主審、副審を千葉商科大学サッカー部に依頼



学生が実況にチャレンジ

※他団体との連携を通じて課題解決力を高める学び

⑩イベントを盛り上げる工夫



大抽選会
500円以上の購入ごとに抽選券を配布



※顧客満足度の重要性や、途中離脱を防ぐ方法を学ぶ

⑪広報活動



イベントチラシの作成

市川市内のすべての小学校に配布

※広報戦略やマーケティング手法を学ぶ

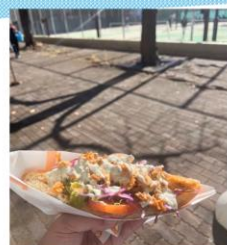
⑫経理



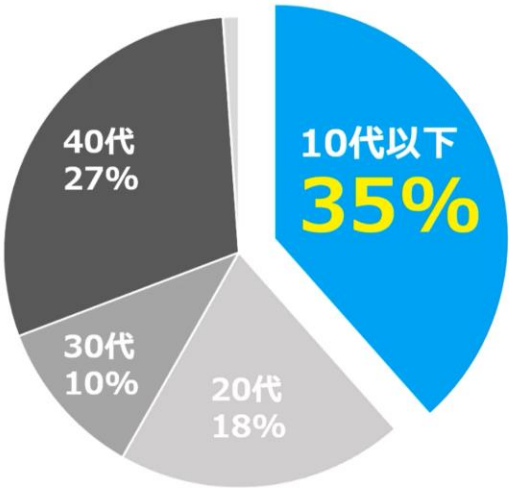
イベントスポンサーの獲得ができなかったため、限られた予算で運営

※財務管理と予算編成の基本を学ぶ
外部資金確保のための準備期間についての学び

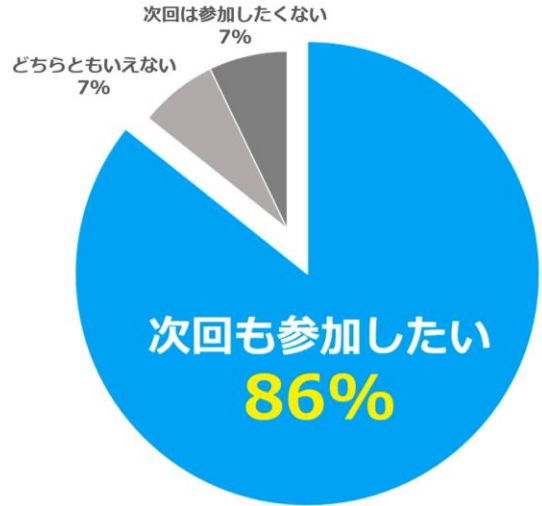
イベント当日の様子



アンケート集計（活動の成果と反響）



参加者の世代 (n=91)



ブース出展者の満足度 (n=14)

学生の学びと成長

総括 「課題発見力と課題解決力」を身につけ
「地域連携の重要性と意義」を理解。

課題解決スキル

ステークホルダーとの関係構築スキル

コミュニケーション能力

マーケティング戦略能力

広報・PRスキル

財務管理・予算編成スキル

調整と交渉スキル

CSR活動とスポンサーシップの理解

マネジメント能力

地域活性化スキル

顧客満足・サービス改善能力

公共機関との連携能力

地域資源活用スキル

資金調達スキル



イベントの意義・成果

スポーツは地域社会を元気にする力をもっている

- スポーツをきっかけに、地域の様々なステークホルダー（企業、行政、住民、教育機関など）が集まり、協働することで地域社会への貢献が実現できることを証明しました。
- 共創ビジネスの創出により、地域経済の振興や地域コミュニティの活性化に繋がり、スポーツが地域社会にプラスの影響を与えられることを示すことができました。
- 学生たちは、地域連携の重要性を学び、課題発見力や課題解決力を身につけ、実践的なスキルを磨くことができました。また、地域社会の一員としての責任感を深めました。



本イベントの実現にご支援をいただいた
すべての皆様に、心より感謝申し上げます。